

様態「そうだ」の名詞接続に関する一考察

－「N そうだ」はどのような意味を表すか－

宮口 徹也

岡山理科大学留学生別科

(2022年10月31日受付、2022年12月5日受理)

1. はじめに

本稿では、いわゆる様態の「そうだ」¹ (以下「そうだ」と記し、様態の「そうだ」を指すこととする) が、名詞とともに用いられるケースに注目し、実際の用例をもとにその意味を考察する。「そうだ」は本来、動詞、形容詞に接続するとされ、名詞につくことはない² (寺村 1984, 森山ほか 2000, 日本語記述文法研究会 2003)。これは、次の文の適格性の差にも示される³。

- (1) 雨が降りそうだ。
- (2) このケーキはおいしそうだ。
- (3) 彼は元気そうだ。
- (4) *彼は学生そうだ。

「そうだ」は、(1-3) のように動詞(「降る」)や形容詞(「おいしい」「元気だ」)に接続する場合には適格であるのに対し、(4) のように名詞(「学生」)に接続する場合には不適格となる。「そうだ」が名詞につくことがないとする従来の記述は、こうした観察に基づくものであるが、「そうだ」の用例をよく見てみると、実際には名詞に用いられる例も一部見られる。たとえば、次のような場合である。

- (5) 横浜は夜やね(^ - ^) 本日、仕事初日(° - °) みんないい人そう(^ ^) だただ初日の気疲れハンパねえ(> _ <)

(『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)より抜粋)

この例では、「そうだ」が「いい人」に接続し、「いい人のように見える」といった意味を表していることがわかる。この「いい人そうだ」という表現は、「そうだ」が名詞に接続する典型例で、日常会話などカジュアルな場面においてしばしば使用されるものだが、「そうだ」が名詞につかないことが前提とされる従来の研究では、こうした場合に「そうだ」がどのような意味を表すかについては議論の対象とされてこなかった。そこで本稿では、実際の用例をもとに名詞接続の「そうだ」を考察し、その意味を明らかにする。

また、「いい人そうだ」のような表現は、規範的観点から「文法的により適切な形」を考えるならば、「いい人のようだ」「よさそうな人だ」などに言い換えられるようにも思われる。だが、これらは「いい人そうだ」と同義ではなく、使用される場面も異なるものである。本稿では考察を通しそれを示すとともに、「いい人そうだ」が他の形式ではなく、なぜその形式で表現されるのかについても、各形式の意味の違いから検討する。また、本稿の最後には、同観点をもとに日本語教育における「いい人そうだ」の扱いについても論じる。

2. 「そうだ」の意味と用法

名詞接続の「そうだ」の意味を考えるにあたり、本章ではまず先行研究における「そうだ」の記述を見ておきたい。これまで「そうだ」を扱った研究は様々あるが、方向性としては主に次の2つにまとめられる。一つは、「そうだ」の用法を分類し、記述しようとする研究、もう一方は、各用法に共通する「そうだ」の基本的な意味を記述しようとする研究である。前者のタイプの研究には、寺村（1984）、豊田（1987）、大場（1999）、森山ほか（2000）、日本語記述文法研究会（2003）、宮崎（2004）などがあり、後者のタイプには、田野村（1992）、ケキゼ（2000）、菊池（2000）などがある。

後者の研究が複数あることにも示唆されるように、「そうだ」は、用法によって表す意味に大きな違いがあるという特徴がある。「そうだ」が実際にどのような意味を表すかについては、これまで主に「そうだ」が接続する語の品詞を基準として、各場合における意味の記述がなされてきた。その中で代表的なものとしては寺村（1984）が挙げられるが、本稿も、特に名詞に接続する「そうだ」を考察対象とすることから、ここでは同研究による記述を取り上げ、以下考察の参考にすることとしたい。

2-1 寺村（1984）

寺村（1984）は、「そうだ」の表す意味として次の2つを認めている。一つは「ある対象が、近くある動的事象が起こることを予想させるような様相を呈していること」（p.239）、もう一つは「ある性質、内情が表面に現れていること」（同）である。便宜上、前者を「予想」、後者を「様態」と呼ぶこととする。寺村は、これら2つのうちどちらの意味が表されるかは、原則的に「そうだ」の接続する語が、動的事象を表す動詞であるか、あるいは状態動詞、形容詞といった状態述語であるかということによって決まると指摘している。

たとえば、(1)を例に考えると、この場合に「そうだ」は、「降る」という動詞に接続しているわけだが、寺村によれば、接続する語がこのように動的事象を表す動詞である場合、「そうだ」は予想を表すこととなる。つまり、(1)は、何らかの対象が「(雨が)降る」という事象の発生を予想させるような様相を示しているということを述べているわけである。この場合、その様相とは典型的には「曇り空」などが考えられる。一方、「そうだ」が状態動詞や形容詞などの状態述語に接続する場合、「そうだ」が表すのは様態である。たとえば、(2)の場合には、「そうだ」は形容詞（「おいしい」）に接続しているが、この場合には、「おいしい」という性質が、対象の「ケーキ」の表面に現れていること、つまり外面から窺えることを述べているわけである。これは(3)の「元気」についても同様のことが言える。「そうだ」が状態動詞に接続し、様態を表すものとしては、寺村（1984）では次の例が挙げられている。

(6) これは「太平記」の記述であって、陰暦十月の中旬、わずか六百メートル余の木の芽峠での凍死には、虚構の疑いがありそうだが……（p.240）

ただし、寺村自身も、こうした接続する語による区別はあくまで原則的なものとしており、「そうだ」の表す意味は、接続する語により固定されるわけではない。実際に、原則に沿わない事例として、寺村は次の例を挙げている。

(7) アムール河方面に低気圧が現れて東進しており、きょうは北日本一帯は天気が下り坂。早ければ今夜から雨が降り始めるところもありそうだ。

(8) 気圧の谷が近づき、九州地方から天気がくずれるが、その他の地方の天気は、まだよきそう。（p.241）

これらを見ると、「そうだ」は(7)では状態動詞の「ある」、(8)では形容詞の「いい」に接続しているが、これらの場合「そうだ」はいずれも様態ではなく、「近くそういう状態になる」（p.241）という予想を表している。こうした例があることから、寺村（1984）では、「そうだ」の意味は、上のような原則とは別に、文脈、状況によっても決まるといふ説明がなされている（p.239）。

2-2 まとめ

以上、ここでは、「そうだ」の表す意味について寺村（1984）による記述を概観した。「そうだ」は、大きく予想と様態の2つの意味を表すが、原則的に、前者は動的事象を表す動詞に接続する場合に、後者は形容詞、状態動詞といった状態述語に接続する場合に表される。ただし、文脈や状況によっては状態述語であっても予想が表されることもある。本稿では、以下この理解をもとに、名詞接続における「そうだ」の意味を考えることとしたい。

3. 名詞接続の「そうだ」

ここからは名詞接続の「そうだ」を考察していくが、その上でまず問題となるのが名詞の判定、すなわち何を基準に名詞とするかということである。よく知られるように、名詞には、ナ形容詞（いわゆる形容動詞）に用法がまたがるものがあり、名詞とナ形容詞との間で統語的な揺れを示す語も数多く存在する。たとえば、「元気」は、格助詞をとり、名詞として用いることができる一方で、連体修飾においては被修飾部の名詞との間に「な」をとり、ナ形容詞としても機能する。

(9) 元気が出る／を出す

(10) 元気の源／元気な人

「元気」についてはナ形容詞としての用法も安定していると言えるが、一般に名詞とされる語であっても、連体修飾では「の」と「な」で揺れを示すものも少なくない。たとえば、「金持ち」という語を例にとって考えてみると、この語は辞書ではほとんどの場合「名詞」に分類されている。「金持ち」が名詞であるとすると、連体修飾では「の」をとるべきだが、実際には次のように「な」をとる場合もある。

(11) 一人は学部が一緒ですっごいカッコよくて頭が良くてお金持ちな人 (BCCWJ)

上記の例は BCCWJ からの引用であるが、同コーパスでは、次のように「そうだ」が「金持ち」に接続した例も見られる。

(12) フィリップはその女性に笑顔を返した。「ありがとう」金持ちそうな中年の未亡人がまくし立て始めた。 (BCCWJ)

このように揺れを示す語はほかにも数多く見られるのだが、こうした事実を鑑みると、(12)のように「そうだ」が名詞に接続していると思われる場合に、それは果たして純粋な名詞と呼べるのかということが大きな問題となるわけである。したがって、「そうだ」の名詞接続を扱う場合には、何をもって名詞と判定するかという点において慎重な検討が要求されることとなる。

一方で、「そうだ」は、「いい人そうだ」のように、形容詞を伴う名詞にも接続することがあり、このような場合には、明らかに名詞に接続しているとみなすことができる。本稿では、名詞の判定までを含めた議論をする余裕がないため、名詞一語の場合については今回の考察対象から外すこととしたい。以下では、「いい人そうだ」を中心に、形容詞を伴う名詞に「そうだ」に接続する用例を見ていくこととする。

3-1 名詞接続の「そうだ」の意味

名詞に「そうだ」が接続する典型例としては「いい人そうだ」があるが、先に見た「そうだ」の記述に照らして考えた場合、この表現はどのような意味を持つと言えるだろうか。「そうだ」は、形容詞や状態動詞などの状態述語に接続する場合、原則的に様態を表すが、名詞も状態述語に属するものであることから、この原則は名詞接続の場合にも適用されると考えられる。「いい人そうだ」が使用される場面として思い浮かぶのは、典型的には、特定の人物を見て「いい人のように見える」というような状況であるが、この場合に「そうだ」が表すのはやはり様態であろう。

実際に、「いい人そうだ」がどのような意味を表すか用例を見て考えてみよう。同表現を BCCWJ で検索してみると、次の8例が見られた。(15)は(5)の再掲である。

- (13) 友達に立ち直ってもらいたいんですけど、どうすればいいですか？旦那さんは いい人そうに見えて、友達のこと大切にしているように見えたんですけど
(Yahoo!知恵袋, 2005年)
- (14) 「そうッスねえ…まだ初日だからなにもわからないッスけど、みんな いい人そうです」
(白岩玄『野ぶた。をプロデュース』, 2004年)
- (15) 横浜は夜やね (^-^) 本日、仕事初日 (°-°) みんな いい人そう (^ ^ゞただ初日の気疲れハンパねえ (>_<)
(Yahoo!ブログ, 2008年)
- (16) 私の回りのお金持ちも変わった人が多いかも・・・でもはたから見れば いい人そうな方ならいますが実際はどうだかわかりません
(Yahoo!知恵袋, 2005年)
- (17) 真里菜ちゃんはとても好きいですよね！ネプチューン名倉さんも いい人そうだし、心よりお祝いたします★
(Yahoo!知恵袋, 2005年)
- (18) 織田裕二って・・・結構好きなんですけど、いい人そうにも見えるし、意地悪にも見えるんですけど・・・実際のところはどうかんでしょうかね？
(Yahoo!知恵袋, 2005年)

- (19) ジーコのお兄さんって何者ですか？サッカー界ではジーコとセットで行動しているのですか？ いい人そうに見えますが…。エドゥー本人については上記リンクにて。
(Yahoo!知恵袋, 2005年)

- (20) 足止めされてたバスの中でも親切にしてくれたし、いい人そうなので泊めてもらうことにする。
(松田貴子『中国吃驚撲通撲通的旅』, 2004年)

これらの例では「いい人そうだ」は、いずれも特定の人物について見たままの印象を述べていることがわかる。(13)では「旦那さん」、(14-15)では「みんな」と称される人物、(16)では「私の回りのお金持ち」、(17)は「ネプチューン名倉さん」、(18)では「織田裕二」、(19)では「ジーコのお兄さん」、(20)では「親切にしてくれた」人物について、それぞれ「いい人のように見える」と述べているわけである。つまり、実際にこれらの用例でも「そうだ」は様態を表していると考えられる。

このように、BCCWJで見られる「いい人そうだ」の用例では、「そうだ」はいずれも様態を表しているわけだが、「そうだ」が他の名詞に接続する場合はどうだろうか。BCCWJでは「そうだ」が名詞に接続する用例として、次のような例も見られた。

- (21) でもまあみんな超 イイ子そうです 頭めっちゃ良さそう
(Yahoo!ブログ, 2008年)
- (22) イイ奴そうだから優れた州知事になると思う”と話すファンも居て、パワフルなヒーローとしてのシュワルツェネッガーのイメージがいかに根強いかがということがよく解る
(荻原順子『SCREEN』, 2003年)
- (23) テレビでは、とても ステキなホテルそうにみえるけど、いったい私のあの体験はなんだったのかしら。(さえきあこ『ニューヨークに大学院留学して』, 2003年)
- (24) やがて日が昏れ、常吉は いい気持そうに酔った石松を、笠井の佐野屋という旅籠に送り届けた。
(結城昌治『大江戸犯科帖』, 2003年)

ここでは、「そうだ」が「イイ子」「イイ奴」「ステキなホテル」「いい気持」に接続している。これらは「そうだ」が「いい人」以外の名詞に用いられる数少ない例であるが、これらも「そのように見える」といった意味で述べられており、ここでも「そうだ」は様態を表していることがわかる。

このように名詞接続の「そうだ」が多くの用例で様態を表すのも、やはり「そうだ」が状態述語に接続する場合に様態を表すという原則に従うためであろう。だが、形容詞や状態動詞に接続する「そうだ」が予想を表す場合もあるように、名詞接続の「そうだ」も予想を表す例がないわけではない。BCCWJを見てみると、次の1件のみであるが、予想を表していると思われる例が見られた。

- (25) 今日、たまたま彼氏とそういう話題になったので、回答していますが、お互いの

大切な友人とは（性別問わず）、どんどん交流してもらいたいし、また、そんなに素敵な人なら紹介してもらいたいって話してきました。紹介してもらいたいても、別に嫉妬や心配からでなく、大切な彼氏が尊敬する人って、すごく素敵な人そうじゃないですか。そういう人となら、ぜひ知り合ってみたいです。

（Yahoo!知恵袋，2005年）

(25) は、交際相手が異性の友人と会うことについて、書き手の意見が綴られたものである。ここで「素敵な人そう」とされているのは、「大切な彼氏が尊敬する人」のことであるが、注意したいのは、これは書き手が実際に目にした特定の人物について、そのように見えると言っているのではないということである。「ぜひ知り合ってみたいです」とあるように、ここでは、まだ会っていない不特定の人物について、彼氏が紹介する人なら「きっと素敵な人だろう」と、仮定の帰結として述べているのである。したがって、この場合には、いまだ起きていない事態に言及しているという点で、「そうだ」は予想に近い意味を表していると考えることができる。

このように名詞接続の「そうだ」が予想を表す例は、数件のみではあるが『つくばウェブコーパス』（以下、TWC）においても確認することができた⁴。以下に一部を引用する。

(26) これは、髪の毛を染めることが一般的になってきた今現在においてもあることです。…（中略）…相手に「茶髪＝遊び人」的なスキーマがあることは、自分の心理のほうでも、「茶髪のままで会って平気かな？」という意識が芽生えます。逆に茶髪で許してくれるのなら、「この人はフランクな人そうだ」という意識になります。つまり、中高年にあるスキーマ（固定観念）を若い世代も逆の意味で持っているわけです。たとえば、茶髪の人が多い会社であれば「この会社は結構自由なんだ」とか「クリエイティブなんだ」というように見られ、逆に黒髪で七三分けばかりの会社は「カタくて真面目な」というように見られてしまいます

（第4回 誰もが好きに髪の色を変えられる自由な時代。：身だしなみとココロのビミョーな関係）

<<http://bb-wave.biglobe.ne.jp/pro/success/delicate/04.html>>

この例では、「そうだ」は「フランクな人」に接続しているが、この場合も書き手は特定の人物を目にして「フランクな人のように見える」と言っているわけではない。ここで意図されているのは、茶髪を許してくれる組織であれば、その人たち（「この人」）は「きっとフランクな人だろう」といったことであろう。つまり、この場合にも、そこで後に会うことになるであろう人たちについて予想を述べていると考えることができる。似た例は次にも見られる。

(27) あくえりあんさん、こんな1日分使ってご紹介していただいて
どうもどうも有り難う（^^）

これじゃどんなねえやんなのか興味津々で会ってみたくなっちゃうね。

私も会いたい、このねえやん。なんだか凄い人そうで。

ブログ覗いてくださった方、どうも有り難うございました。

（6月瞑想会シェアーあるがままでいいんだよ...守護さんとぼくのおしゃべりー）

<http://blogs.yahoo.co.jp/imacoco_mizugameza/12705772.html>

これはブログからとられたものだが、ここでは「凄い人」に「そうだ」（「そうで」）が接続している。(27)で書き手が「凄い人そう」と述べているのは、「ねえやん」「あくえりあんさん」と称される人物のことであるが、「会ってみたくなっちゃうね」「私も会いたい」とあることからわかるように、書き手はこの人物を直接見たことがあるわけではない。したがって、ここで意図されているのもやはり、実際に会ってみたら「きっと凄い人だろう」という予想であると考えられる。

ここまで見たのは「人」という名詞を伴う例であったが、TWCでは次のように他の名詞を用いて、予想を表しているものも見られた。

(28) 結局、小袖乗越に着いたのは7時過ぎ。。。

すっかり明るくなっちゃってる。。。

さっさと出発。

久々に丸一日空いたので気分も軽い。足も軽い。

今日も良い天気そうだ。

雲一つ無いっす。

サクサク歩いていると堂所の手前からチョロチョロ雪が。

お。雪は無いと思ってたけど、意外にあるのかな。

石尾根に出てからが楽しみだ。

(「工場長の「山ばっかり、、酒ばっかり。。」：やっぱり雲取山っ！！(単独日帰り) 10/01/06」<<http://koujouchou.naturum.ne.jp/e842779.html>>)

これもブログからの抜粋であるが、ここでは、山に登った一日についてその断片を追体験するかのようになり、当時の視点から書き手の体験が綴られている。ここで書き手は「今日も良い天気そうだ」と述べているが、これは「良い天気に見える」という意味で述べているわけではない。実際のブログを見ると、この文の直後には、山の斜面が朝日に照らされる様子や、山陰から朝日が覗く様子を写した写真など、当時の様子を伝える写真が添えられているのだが、ここでは、書き手がそのような様子を目にして抱いた「良い天気になるだろう」という印象を、当時の視点に立って「良い天気そうだ」と表現しているのである。したがって、この場合も「そうだ」は予想を表していると考えることができる。(28)の「良い天気そうだ」が予想を表すことは、同表現が様態を表す(29)のような場合と比較してみるとより明確となる。

(29) こんばんは。

蕎麦の畑にコスモス、いいですね～。

秋ですね！

いい天気そうで、いっぱい楽しんだのかなあ～！

こちらは松茸狩りに行ってました。

(「いたずらチワワ ELMO のつぶやき：秋晴れ！鮮やかコスモス いたずらチワワ」<http://elmo1229.at.webry.info/201110/article_2.html>)

これは、外出先での愛犬の写真が載せられたブログ記事にコメントとして寄せられたものであるが、ここで書き手が「いい天気そうで」と言っているのは、写真に写る外出先の様子のことである。つまり、ここでは「いい天気のように見える」と言っていると考えられるが、これはその後の見通しを述べている(28)の「良い天気そうだ」が表す意味とはやはり異なるものである⁵。

3-2 まとめ

以上、本章では「いい人そうだ」を中心に、形容詞を伴う「そうだ」の名詞接続の事例を考察した。「そうだ」が状態述語に接続する場合に様態を表すという原則はこれまで指摘されてきた通りだが、名詞も状態述語であること、また実際の用例においても様態を表すものが多いということからも、この原則は「そうだ」が名詞に接続する場合についても同様に成り立つと言えそうである。したがって、名詞接続の「そうだ」を「N そうだ」と表現した場合、これは基本的には「N のように見える」といった意味を表すと理解できる。ただし、現在の様子ではなく、いまだ起きていない何らかの事態に言及するような場合には、「N そうだ」も予想を表すことになる。その場合、「N そうだ」は「きっと N だろう」というのと近い意味を表すと考えられる。

4. なぜ「N そうだ」が使用されるか

これまで名詞接続の「そうだ」について用例をもとに考察してきたが、本来名詞には接続しないはずの「そうだ」が「N そうだ」の形式で用いられるのはなぜだろうか。「そ

うだ」は、モダリティ形式の中では、「ようだ」「みたいだ」「らしい」とともに証拠性判断を表すものであるが、それら3つの形式は、「N のようだ」「N みたいだ」「N らしい」のように、もともと名詞にも使用できるものである。このような形式があるにもかかわらず、これまでの用例において敢えて「N そうだ」が使用されているのはなぜだろうか。これはおそらく、「N そうだ」がそれ以外の形式では表現し得ない意味を表すためであると考えられる。

そもそも「そうだ」は、視覚的、直感的な印象を述べるという特徴を持つ形式であり、判断した結果を述べる「ようだ」「みたいだ」「らしい」とは性格の異なるものである。つまり、「N そうだ」は、他の形式では表現し得ない「直感性」を表すことができるのである。実際に、直感的に「いい人だろう」という印象を述べるような場面では、「ようだ」「みたいだ」「らしい」よりも「そうだ」のほうが馴染みやすい。

(30) ぱっと見た印象で言えば、彼はいい人 {そうです/?のようです/?みたいですよ/*らしいです} けどね。

(31) (会ったことのない笑顔の人物の写真を見て) この人はいい人 {そうだ/??のようだ/??みたいだ/*らしい} ね。

このような場面で、「そうだ」以外の形式を使用した場合には、何らかの根拠をもとに判断したという意味合いが生じてしまい、直感的な「いい人そうだ」に比べ重みのある表現となってしまう。また、「そうだ」は、見たままを描写するという性格があることから、(31)のように写真を見てふと抱いた印象を述べるような場合にも、同形式がもっとも落ち着くようである。このように考えると、名詞を用いて「そのように思われる、きっとそうであろう」といった話し手の直感を表現するには、やはり「N そうだ」という形式を用いるしかないことになる。つまり、他形式ではなくあえて「N そうだ」が用いられるには、そのような直感性を表現したいという話し手の心理があるのだろう。

一方で、「いい人そうだ」という表現は、「そうだ」が本来名詞に接続しないことから一般的には誤りとされ、「いい人」のような名詞を使用する場合には、「ようだ」が代用として示されることが多い。実際に日本語教育においては、名詞の場合には「そうだ」ではなく「ようだ」を使うべきだとされ、『日本語誤用辞典』では、「そうだ」の指導のポイントとして次のような説明がなされている。

(32) 名詞は直接、様態「そうだ」(例：×雨そうだ)にはつながらない。「名詞+のようだ」(例：×雨のようだ)、または「名詞+だと思ふ」(例：雨だと思ふ)の形をとることを説明する。(市川保子編『日本語誤用辞典』, p.246)

これは「そうだ」の用法の一般的な説明としては妥当ではあるものの、「いい人そうだ」という代わりに「いい人のようだ」とした場合には、やはり前者の持つ直感性は失われてしまう。これは「いい人だと思ふ」でも同様である。

では、「いい人そうだ」と同様の意味を他の形で表現する方法はあるだろうか。「そうだ」を用いて、より近い形で表すとすれば、次のようなものが考えられる。

(33) あ的那个人は、よさそうな人だ。

これは修飾語の「いい」に「そうだ」を用いた場合であるが、これは文法的には正しい反面、「いい人そうだ」と同じ意味を表すとは言えないだろう。(33)は、仕事を任せる人など、何らかの候補者を選出するような場面で「この人ならよいだろう」という意味で言うことはあるだろうが、「いい人のように思われる」という意味では用いられないからである。これは、「あ的那个人は、よさそうだ」のように表現しても同じである。このように考えると、直感的に「いい人のように思われる、そのように見える」といった意味を表現するには、やはり「いい人そうだ」のように「いい人」に「そうだ」を接続させた形を用いるしかないということになるだろう。

以上を踏まえて、ここで『日本語誤用辞典』における「そうだ」の使用例を見てみたい。同辞典では、次の(34)のような日本語学習者の誤用に対して、(35)が添削例として示されている。

(34) [誤] 彼女に知っているのが、今まで半年ぐらいなかなか**良い人に見えます**ね。

(35) [正] 彼女と知り合ってからまだ半年ぐらいですが、なかなか**良さそうな人**ですね。

(p.244)

ここでは「良い人に見えます」を誤用として、その代わりに「良さそうな人です」が添削例として示されている。だが、上で見たように、これは何らかの候補者として基準を満たしていることを言う場合に適当となる表現であり、(35)の内容は(34)で意図されていることとは明らかに異なるはずである⁶。(34)では、知り合ってから「今まで半年ぐらい」とあり、さらに「見えます」という表現を使用していることから、ここでは、印象として「いい人のように見える」ということを言っていると考えるのが妥当であろう。そのように考えると、この場合、見たまを直感的に述べる「いい人そうです」が、もっとも話し手の意図に近い表現になるのではないかと思われる。もちろん「そうだ」が名詞にはつかないと説明している以上、このような場合には「いい人そうだ」は用いず、それ以外の表現に終始するしかないわけだが、それによって本来の意図が伝わらなくなるのであれば、指導上適切であるとは言えないのではないだろうか。

「N そうだ」という表現形式はいまだ新奇表現の域にあり、使用可能な名詞も限られるわけだが、少なくとも「いい人そうだ」については、表現としてある程度定着していること、同表現がもっとも適切となる場面があるということからも、単に誤りとして無視されるべきものではないだろう。日本語教育において「いい人そうだ」のような表現をどう扱うかは今後何らかの検討がなされてもよいのではないかと思われる。

5. おわりに

以上、本稿では名詞接続の「そうだ」(「N そうだ」)が、どのような意味を持つか実際の用例をもとに考察した上で、他形式との比較から、なぜ同形式が使用されるかについても検討した。「そうだ」は、原則として状態述語に接続する場合に様態を表すが、状態述語である名詞に接続する場合も同様に様態を表すことになる。ただし、まだ起きていない事態に言及するような場合には、予想を表すこともあるようである。また、「N そうだ」という形式は、「そうだ」が直感的に見たまを述べる性格を持つことから、本来名詞と使用可能である「ようだ」「みたいだ」「らしい」では表現できない直感性を表すことができる。したがって、同形式が選択されるのには、直感的な印象を表現しようという話し手の心理が反映されていると考えられる。

本稿では、「N そうだ」が、「いい人そうだ」に限らず、そのほか様々な名詞に使われることを見たが、これは、名詞述語について話し手の直感を表現できる唯一の形式として、「N そうだ」の使用が拡大しつつあることを示しているのではないかと思われる。その意味で、「N そうだ」がどう使用されるかは、今後も注意深く観察していく必要があるだろう。また、本稿では、「そうだ」が名詞一語に接続する場合については考察の対象外としたが、「N そうだ」の用法を正確に理解する上では、そのような場合も含めた、更なる考察が必要である。この点については今後の課題としたい。

注

- 1) 「そうだ」には、「明日は雨が降るそうだ」のように伝聞を表すものもあるが、これは本稿の考察の対象外である。
- 2) 本稿ではいわゆる形容動詞もナ形容詞として形容詞に含める。したがって、本稿で形容詞と言う場合にはイ形容詞、ナ形容詞の両方を指すこととする。
- 3) 本稿では作例における表現の適格性について次の記号を用いて示すこととする。判断は筆者の語感による。

* : 当該の表現が不適格であることを示す。

? : 当該の表現がやや不自然であることを示す。

?? : 当該の表現がかなり不自然であることを示す。

なお、無標の場合は、当該の表現が適格であることを示す。

- 4) TWCでも「いい人そうだ」の用例は44件見られるが、そのほとんどは様態である。TWCで見られる名詞接続事例の詳細については宮口(2021)を参照されたい。
- 5) 「そうだ」は、目の前の花について「きれいそうだ」「美しそうだ」などと言えないように、通常、見て明らかな様子を述べる場合には使用できないという制約がある。したがって、晴れた空を見て「いい天気そうだ」というのも本来なら不適格となるはずである。にもかかわらず、(29)でこのような表現がされるのは、ここでは単に写真を見ている状況であるためだと考えられる。つまり、写真に写る空の様子を見るだけでは、「いい天気だ」と断定するには至らず、それにより「そうだ」を使用する余地が生まれるのである。
- 6) この添削について、同書では次のような解説がされている(かっこは筆者による)。

20(34を指す)で用いられている「～に見えます」も「そのように思われる」「そう感じられる」という意味を表すが、「本当のところはわからない」という意味合いが含まれる時がある。したがって、20では「良さそうな人だ」と言ったほうが適切であろう。(p.246)

参考文献

- 1) 市川保子編(2010)『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』スリーエーネットワーク
- 2) 大場美穂子(1999)「いわゆる様態の助動詞「そうだ」の意味と用法」東京大学留学生センター紀要9, 75-99
- 3) 菊池康人(2000)「いわゆる様態の「そうだ」の基本的意味—あわせて、その否定各形の意味の差について—」『日本語教育』107, 16-25
- 4) ケキゼ・タチアナ(2000)「「(～し) そうだ」の意味分析」『日本語教育』107, 7-15
- 5) 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』
<<https://shonagon.ninjal.ac.jp>>
- 6) 田野村忠温(1992)「現代語における予想の「そうだ」の意味について—「ようだ」との対比を含めて—」『国語語彙史研究』12, 1-20
- 7) 筑波大学・国立国語研究所・Lago言語研究所『NINJAL-LWP for TWC』
<<https://tsukubawebcorpus.jp>>
- 8) 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味 II』くろしお出版
- 9) 豊田豊子(1987)「「そうだ」(様態)の意味・用法と否定形(1)」『日本語学校論集』14, 1-13
- 10) 日本語記述文法研究会(2003)『現代日本語文法4 第8部 モダリティ』くろしお出版
- 11) 宮口徹也(2021)「様態のソウダはどのような名詞と共起するか—コーパスにもとづくソウダの名詞接続の考察—」『日本語教育方法研究会誌』27(1), 20-21
- 12) 宮崎和人(2002)「認識のモダリティ」仁田義雄・益岡隆志・田窪行則(編)『新日本語文法選書4 モダリティ』くろしお出版, 121-171
- 13) 森山卓郎・仁田義雄・工藤浩(2000)『モダリティ 日本語の文法3』岩波書店

An Analysis of *soo da* ‘it appears’ connecting to nouns

— What does *N soo da* mean? —

Tetsuya MIYAGUCHI

*Intensive Japanese Language Program, Okayama University of Science
1-1, Ridai-cho, Kita-ku, Okayama 700-0005 Japan*

(Received October 31, 2022; accepted December 5, 2022)

Soo da ‘it appears’ is an Japanese evidential expression that can be used with verbs and adjectives to express an inference; however, in some cases, *soo da* can also be used with nouns, as in *ii hito soo da* ‘appears to be a nice person’. While in previous studies, *soo da* is said to express two different meanings depending on whether it connects to a verb or adjective, it has not yet been made clear what meaning is expressed in the case of nouns. This study examines the meanings of *soo da* in such cases by observing actual examples. The study will also discuss why *soo da* is chosen over other evidential forms such as *yoo da*, *mitai da* and *rashii*, which can originally be used with nouns when expressing an inference.